

学校医大会アンケート

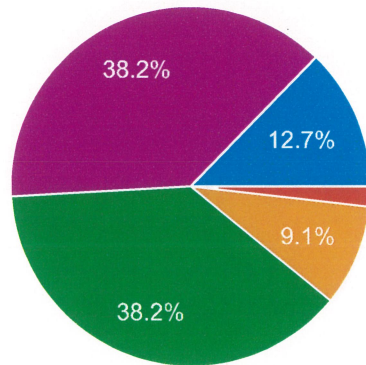
55 件の回答

分析を公開

1. 現在の年齢を教えてください。

コピー

55 件の回答

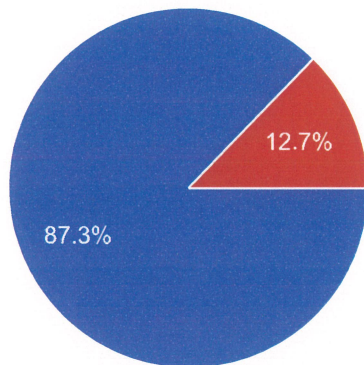


- ①30歳未満
- ②30～39歳
- ③40～49歳
- ④50～59歳
- ⑤60～69歳
- ⑥70～79歳
- ⑦80歳以上

2. 戸籍上の性別を教えてください。

コピー

55 件の回答

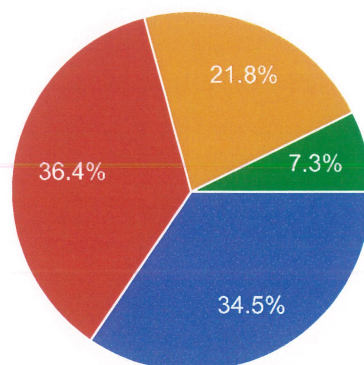


- ①男
- ②女

3. 開業している地域を教えてください。

コピー

55 件の回答



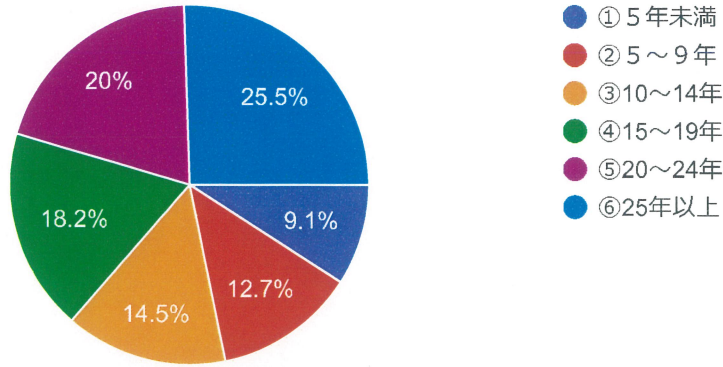
- ①神戸地区
- ②阪神地区
- ③播州地区
- ④但馬地区





4. 最初の学校医を担当して何年になりますか？

55 件の回答



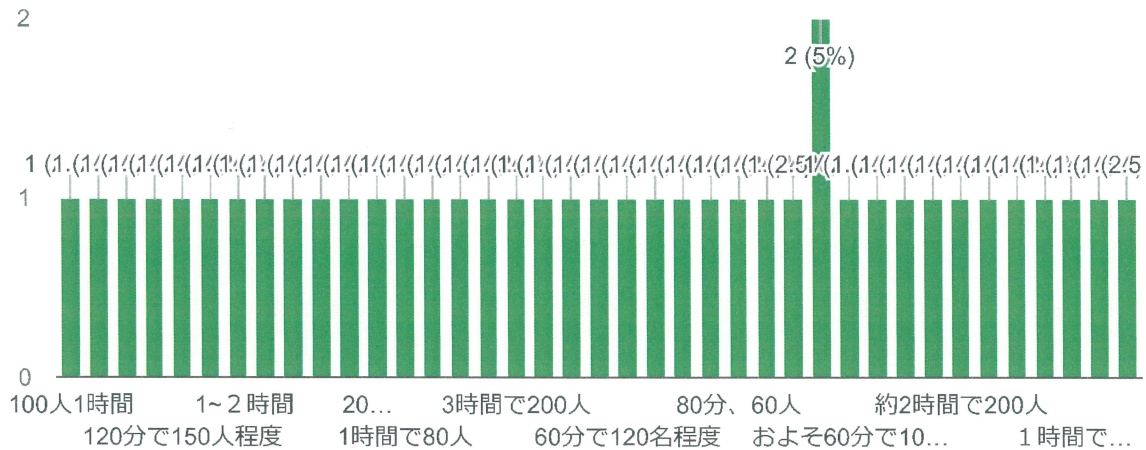
ここからは普通学級での健診についてお尋ねいたします

5. 1回の健診にかかる時間と一人あたりにかかる時間を教えてください。



健診時間約何分で何人を健診するのかを記述ください。

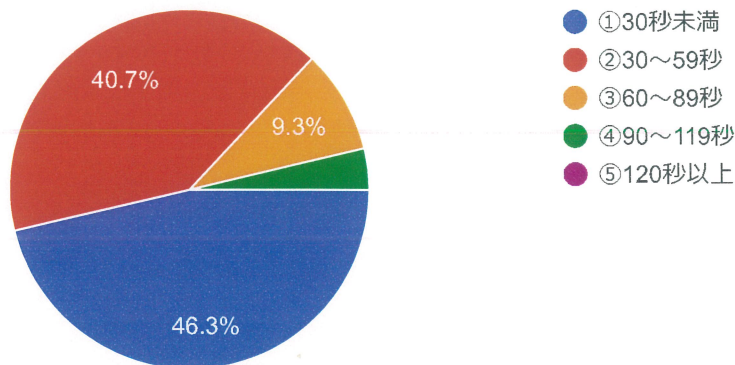
40 件の回答



6. 1人にかかる時間



54 件の回答



7. 6で⑤120秒以上を選択された方は、何秒以上か教えてください。

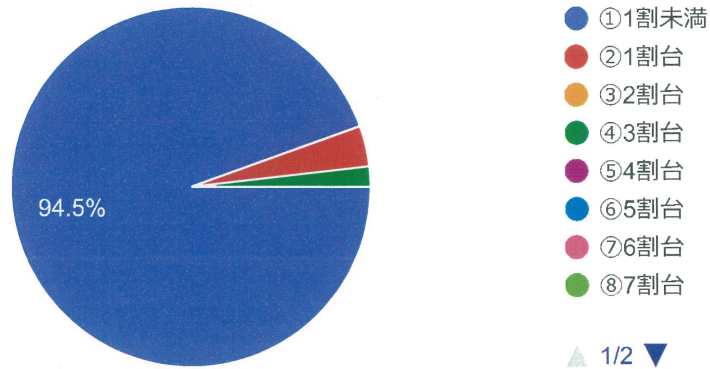
1件の回答

160

8. 当日いやがって診察不能な児童生徒はいますか？

 コピー

55件の回答



9. 診察不能や欠席の場合の対応・工夫を教えてください。

46 件の回答

後日健診表をもって来院

後日、耳鼻咽喉科の受診を指示している。

診察困難でも何とか、押さえてもらってみるが、もし耳垢があれば、それを指摘する。問診に症状あれば、鼻炎等、疑い病名をつける。

欠席の場合、クリニックに来てもらうが、その際には、校長から文書で、治療処置などは、有料となる旨、保護者に通知の文書と共に、健診依頼書と共に受診してもらう。

次回の健診日に診察。それも不能なら後日耳鼻科の診察を受けてもらうよう用紙を渡す。

後日の健診で呼ぶ。

直接来院

欠席時、後日自院で健診。

健診者や保護者に負担をかけたく無いので、所見が取れ無くても、反応や言葉の大きさと問題が無さそうであれば異常なしとするケースがある。欠席者は別の学校や自身の診療所に後日行ってもらおう。

後日診療所に受診を勧める。別の日に再度行う。

後日診療所受診か、別の日に行う。

後日健診予備日にて再度診察可能か検討

待つ

予め器械に触れさせて不安を解消する。欠席者に対しては今のところ対応なし。

複数回行くところは次回の健診時に診察。あるいは近くの耳鼻科で診てもらおうように指導。

診察不能なら、仕方ないと思う

落ち着いてみせてくれるまで、順番を繰り越しさせる。

欠席の場合は自院に来てもらっています。

寝転んだ状態での診察を余儀なくされている。

後日、医院へ来院



診断不能の場合は、

できるだけ早く確認

問診で済ませる。 後日自院へ健診で来ること承諾

特になし

しばらく健診風景を見学してもらおう。健診時出来る限り器械を使用しない。

診察不能は無理に診ません

どうしても検診できない子供はザオの視診で鼻汁の状態を見て判断。養護教諭に会話の反応を聞いて判断している。欠席の場合は当医院へ予診票を持って来院してもらっている。

先生と相談 できる範囲で

トラウマになるほどの精神的肉体的負担を与えてまで検診をするべきとは思いません。欠席者は校医を受診すれば検診は無料

後日当院への受診勧める

可能なら自院に来てもらう。

周りにクラスメートがいる為か、嫌がる生徒さんはほとんどいません。発達障害の生徒さんは時々、抵抗がありますが、痛くないことを説明するとほぼ検診に協力してくれます。

可能なら後日、診療所に来てもらう（無料）

複数の教師に抑制して頂く

欠席は後日診療所。診察不能は、努力して何とか診察へ持って行ってます。

2回に分けて学校検診に行く。2回目も欠席であればクリニックに来ていただくよう指示する。

可能な日時に保護者と自院に来院してもらう

日をあらためる

怖がっている子には器械を触らせて、説明をして納得させて検診している。発達障害などでも大抵出来る。欠席については学校保護者の判断に任せている。

後日、受診してもらうようにしています。

後日、自院に来ていただいて診察

時間をかけて説得したり、欠席者は自院に来させる。



後日自院に来させる。診察順番は関係なく、来院したら即割り込みで検診している。診療代は徴収しない。

診察不能の場合は無理をせずできる範囲で行う。欠席者のために再度検診に行く場合と、後日自院へ来てもらう場合がある

診察不能は全員終了後再挑戦、欠席は自院に受診させて順番待ちなし無料で検診する

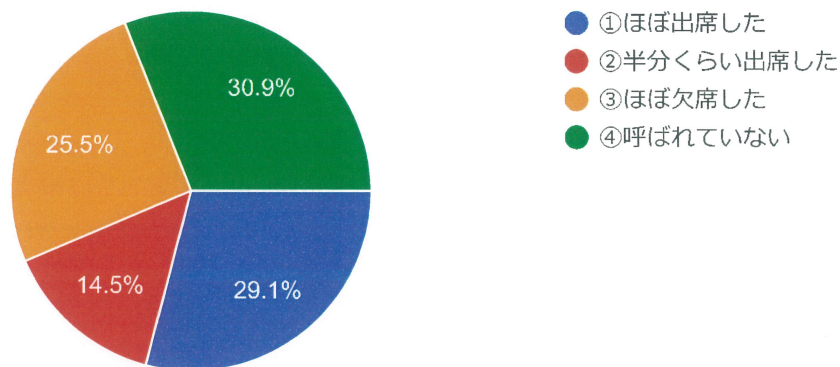
欠席の場合、後日他校の検診や診療所で時間を相談の上検診を行っている

なし

10. コロナ前にはその学校の学校保健委員会に出席していましたか？



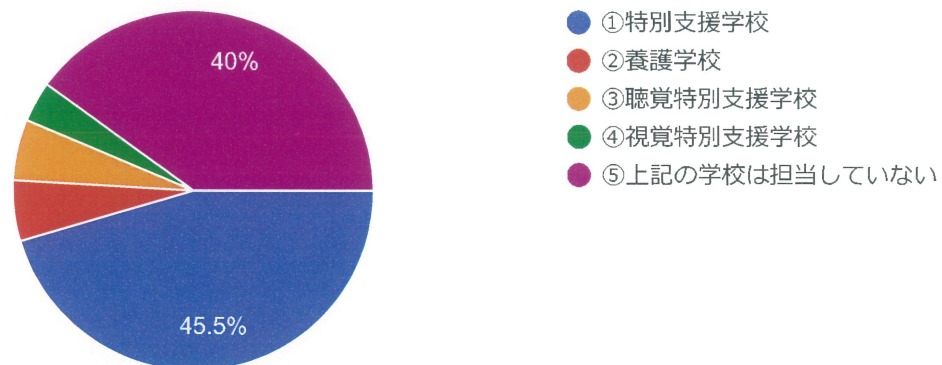
55 件の回答



11. 担当している学校は



55 件の回答



アンケートは以上となります。ご協力ありがとうございました。

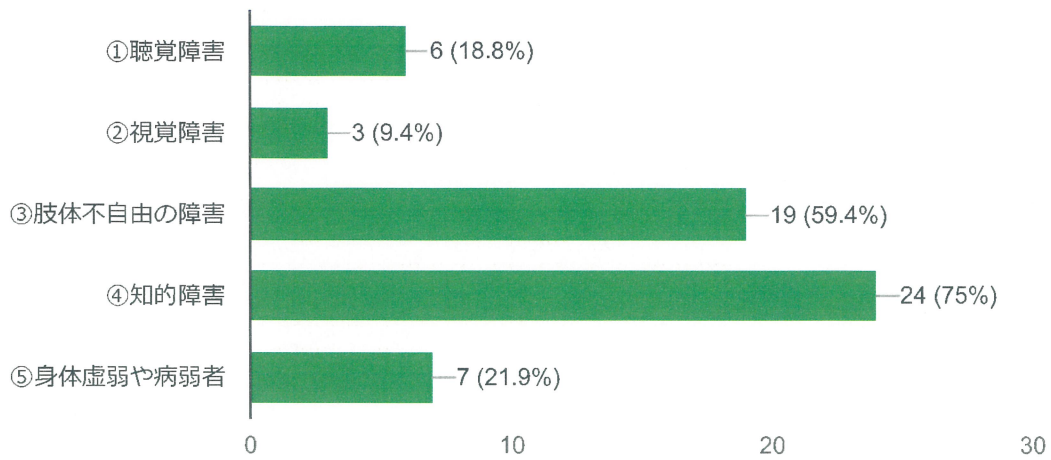
ここからは特別支援学校等での健診についてお尋ねいたします。



1 2. 担当する特別支援学校で担っている障害を次の中から選択してください。



32 件の回答

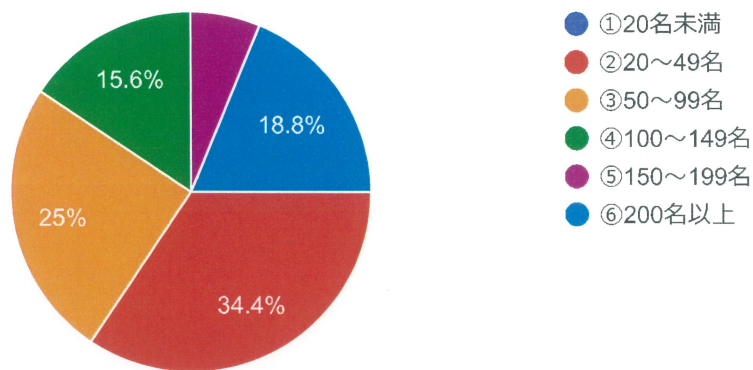


1 3. その学校の在校生数と担当して何年になるかを教えてください。



在校生数

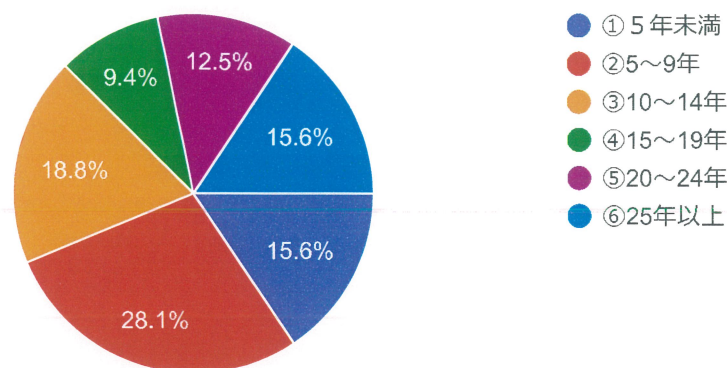
32 件の回答



1 4. 担当年数



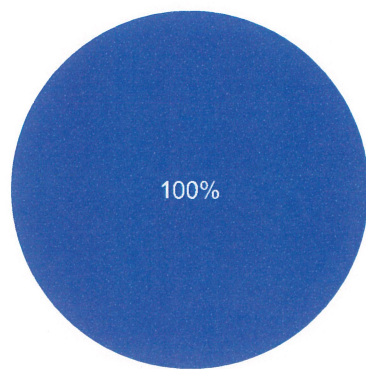
32 件の回答





15. 健診対象を教えてください。

32 件の回答



- ①全員
- ②重点的健診

15. で②重点的健診を選択された方は具体的に教えてください。

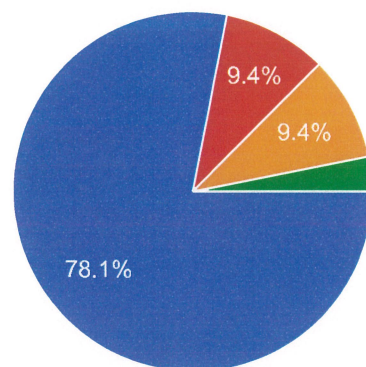
0 件の回答

この質問にはまだ回答がありません。

16. その学校の年度毎の健診回数を教えてください。



32 件の回答



- ①1回
- ②2回
- ③3回
- ④4回以上



17. 1回の健診にかかる時間と1人あたりにかかる時間を教えてください。

健診時間約何分で何人を健診するのかを記述ください。

30件の回答

1時間で80人

30分で40人

2時間50~80人

1時間で100人

ケースバイケースです。

30分

1時間で30人程度

2時間で30人程度

15分で30人

不明です。

1時間半で50人

約50分で約40人

約60分で35名ていど

80分、60人

移動に時間がかかりますので、在校生23名で30分程度になります。

90分で30名

25人/時間

1時間で35人

約60分、50-100人

2.5時間で30人



100分で60人

2時間で約100人

約90分で100人程度です。

180分で200人程度

120分で150人程度

40分で30人

90分80人

60分で60人から80人

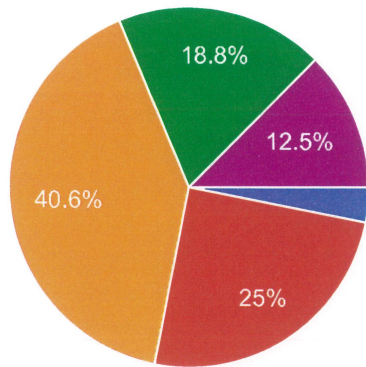
30分で30人

90分で80人

18. 1人あたりにかかる時間



32件の回答



- ①30秒未満
- ②30~59秒
- ③60~89秒
- ④90~119秒
- ⑤120秒以上

19. 18. で ⑤120秒以上を選択された方は何秒以上か教えてください。

4件の回答

180秒

診察を嫌がって逃げたりする。また診察のための姿勢の保定にも時間がかかる。

180秒以上

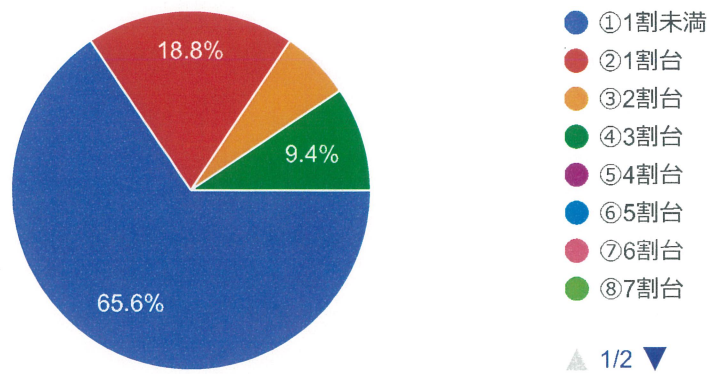
160





20. 当日いやがって診察不能な児童生徒はいますか？

32 件の回答



▲ 1/2 ▼



2 1. 診察不能や欠席の場合の対応・工夫を教えてください。

25 件の回答

別の健診日に診察、それも不能なら自院での診察を勧める。拘束しても診察不可能な場合は養護教諭と相談し、対応を考える。健診場所を廊下・階段や児童生徒の教室に変更し、診察が可能になったこともある。光る健診器具に過剰に反応する場合は光らない器具に変更したり、器具を使わず診察した。クリニカライトを嫌がる場合はペンライトで診察することもある。機嫌が悪くなり床に大の字になり動かない場合はこちらも寝そべて診察した。

学校も事前に絵付きの診察方法を貼り出して児童生徒に説明してくれている。また介助員には「診察時の手足の押さえ方」の絵付きの説明用紙を見てもらい、円滑な診察ができるよう指導している。

ほとんどの児童生徒はかかりつけ医があるので、そちらに願います。また、白衣を着ずに診察している。下校時間が決まっているので短時間で診察するよう心がけている。

直接来院もしくは近医受診

欠席の場合は後日自院で健診。健診不能の場合は健診せず。

健診者や保護者に負担をかけたく無いので、所見が取れ無くても反応や言葉の大きさを推定異常なしとする事が多い、欠席者は後日、自身の診療所に来てもらう事がある。

後日診療所受診を勧めるか、別の日に行く。

健診予備日を設定

診察不能者は職員の支えによって行う。欠席者が予め見込まれているので予備日を設けている。

診察が難しいときはできる箇所のみ診察する。欠席の場合は耳鼻科受診を指導します。

欠席の場合は自院に来てもらっています。

押さえつけ

なんとか職員と一緒に診察はする。欠席者は後日医療機関を受診していただく。

できるだけ近くによって手早く済ます

しばらく健診風景を見学してもらう。健診時出来る限り器械を使用しない。

教職員に協力してもらい出来るだけ診ます。

嫌がる生徒には耳鏡、鼻鏡、舌圧子は使用しません。そうすると見せてくれますし結構情報が得られます。欠席者は自院なら検診料不要ですが自院は高齢女性のスタッフばかりなのでマンパワーの豊富な病院耳鼻科をご紹介する場合があります。



可能なら自院に来てもらう。

特別支援学校ですので中学・高校の生徒さんが暴れる場合は検診を諦めます。小学生以下の生徒さんの場合は養護教諭が抱きかかえて検診しています。

2回に分けて学校に行く。2回目も欠席であればクリニックに来ていただくよう指示する。

可能であれば保護者と自院に来院してもらう

諦める

前もって養護の先生に説明していただいている。リハーサル的なことをしていただいている。

教員の判断で次回や次々回にまわしている。最終日に不可能な場合、そのままできないこともある。当院に受診可能な生徒は後日自院に来させている。

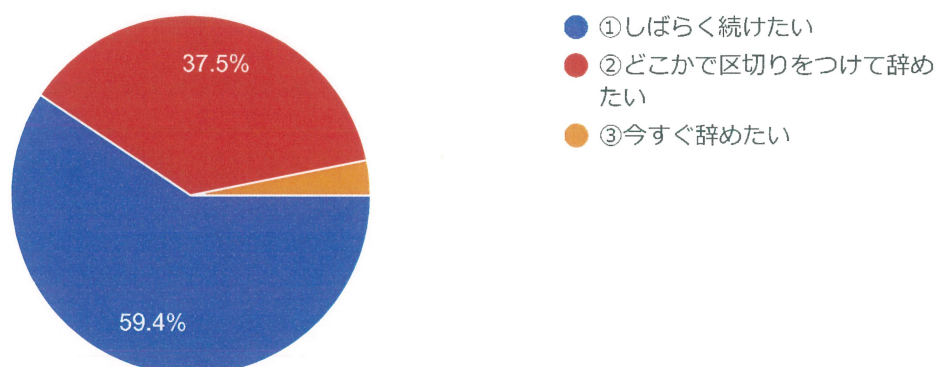
他の生徒の検診を見学してもらい、恐怖感の緩和に努める。

なし

2.2. 今後、この学校の学校医について



32 件の回答

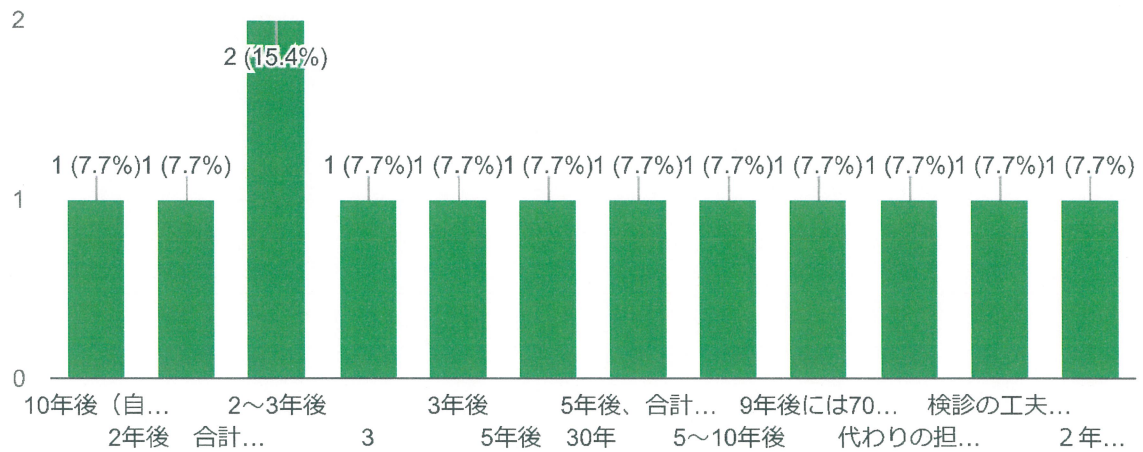


23. 22.で②どこかで区切りをつけて辞めたいを選択された方は具体的に記述してください



何年後・合計何年

13件の回答



24. 養護教諭や児童生徒の養育者についてお願いしたいことがあれば記入して下さい

13件の回答

なし

養護教諭は非常に協力的。歯科健診がかなり大変らしいのでお互いに情報提供ができればいいと思う。補聴器装用児が耳垢塞栓だったこともあり、遠慮なく診察を受けてもらいたい。学校医もそういう環境作りについて学校や養育者にコメントしていきたい。また、学校保健委員会に欠席する場合は事前にコメントをFAXなどで送っている。質問や相談があればいつでも連絡してほしい。

特になし。養護教諭は協力的である。

健診に過度の期待をされると困る。、滲出性中耳炎があるのに聴力検査も出来ず、鼓膜所見が取れていない場合もあり、異常なしと診断した場合に責任が取れない。アレルギー性鼻炎、膿性鼻汁がありそれでも軽度で生活に困って無さそうであれば異常なしとする傾向がある。

充分にご協力いただいています。

耳鼻咽喉科関連の手術、処置歴、通院の情報提供（これまでも十分情報はあるが）

質問とは直接関係ないかもしれないが、生徒によつての障害状況は異なるため、一般的な問診票では問題があるのかが把握できないことが多い。臥床状態で”呼んでも振り返らない”や、気管切開で”口が開いている”など。毎年問診表などを作成し直そうと考えるがそのままになってしまっている。今回のアンケートなど検討したなかで、良い方法があれば改善したい。

生徒を待たずに健診できるように、段取りを工夫してほしい。

過度な期待はしてほしくない

特にないです。

耳垢は耳垢で奥の鼓膜が見えていないというだけで、以前耳を耳鼻科で1回でもきちんと診察してもらったことが有れば、聞こえていれば大きな問題は無い可能性が高く、拘束することで身体的肉体的ストレスを与えてまで耳垢を取る必要は無いというコンセンサスが有ればそれを伝えたいと思います。

養護教諭も養育者の方々も協力的で、特にお願いはありません。

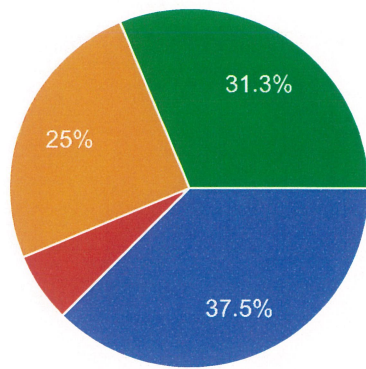
校医に対する挨拶も教育の一つであるのは理解できるが、毎回一人一人に「お願いします」「ありがとうございました」と言わせるのは多人数の場合返答に疲れるのでやめてほしい。



25. コロナ前にはその学校の学校保健委員会に出席していましたか？



32 件の回答



- ① ほぼ出席した
- ② 半分くらい出席した
- ③ ほぼ欠席した
- ④ 呼ばれていない



26. コロナ後に健診対応を変更したことがあればご記入下さい

22 件の回答

特にありません。

咽頭の診察を止めた。また白衣からガウンに変更しメガネとゴーグルを併用して診察した。

ゴーグルを着用した。

フェイスシールドを着ける。無理をしない、押さえつけが緩くなる、所見が取れ無くても、推定異常なしが増えた。

特に変わりありません。

特になし。

舌圧子の不使用 鼻鏡の不使用

名前を発音させていたが、止めた

咽頭健診がなくなった。しかし、元々開口できない（しない）生徒が多い。

「あ〜」と発声させたりして、しっかりと口腔、咽頭を観察出来るようにしたい。

咽頭の診察はしていない

扇風機を最強で運転

ガウンと手袋を着用して、診察を行なっている。アルコール消毒もまめに行なっている。

検診時にフェイスガードをつける

症状がない場合には咽頭の視診は省略したが、本年度は咽頭の視診を含め従来通りの健診を行なった。

なし

検診直前までマスク

特別支援学校の在校生は耳鼻咽頭すべてチェックしている。

検診前後の挨拶の省略の徹底、クラスを分割して少人数で出入りするようになった。

診察時以外マスクの装用。発熱者は検診を中止。

口腔内は見ない



アンケートは以上になります

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム

